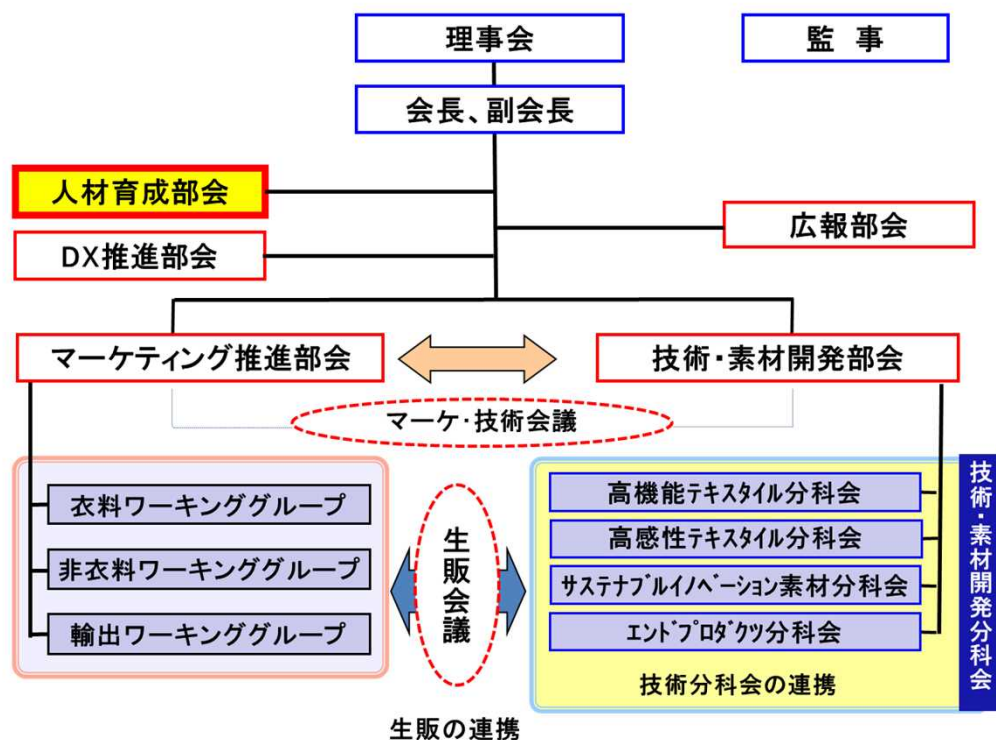




その他（個別ヒアリング結果まとめ）

1. 人材不足が最も大きな問題
2. 特定技能は「国際的な人権基準」の明確化が必要
3. 北陸地域の中では、他業種と比べて決して賃金は低くなく、賃上げも全国レベルで行っている。
4. 北陸3県は求人倍率が異様に高い地域であり、他地域からの採用の工夫も必要
5. 繊維産業における「休日数の少なさ」「夜勤」が、応募の低さの要因
6. 繊維の仕事のやりがいや創造性から、離職率は低い
7. 繊維の仕事の魅力の発信が大きな課題である

東レ合繊クラスター運営体制(2025年1月現在)



人材育成部会：部会長 坪井社長（坪金織物）
副部会長 野坂常務（福井経編興業）

24年度の活動	内容
生産系講座 (10・11月)	「リーダーの現場力・行動力強化」見える化で現場を「見る」から「行動」に繋げる(外部講師)
マーケティング講座 (11月)	中小メーカーでも行えるECメディア構築手法とゲリラ型ウェブマーケティング戦略(マルオリG) 婦人・紳士衣料部のマーケティング戦略(東レ)
働き方改革講座 (9・10月)	タイムマネジメント研修(外部講師)
ボランティア(7月)	海洋プラスチック削減ゴミ拾い参加(根上海岸)



マーケティング講座

海洋プラスチックゴミ回収

設立20年を機に、ロゴとパーパス、ステートメントを更新
活動が目指す共有ビジョンを明確にした。

ロゴ



パーパス

伝統と革新をつなぐ
クリエイティブな繊維で
世界をもっと面白くする。

ステートメント

変わりゆく時代や生活、価値観のなかで、
伝統の技は、職人は、時代遅れなのだろうか。
たしかに、古いだけではダメだ。
でも、新しいだけでもつまらない。
斬新なのに深みがある。それこそが、面白い。

東レ合繊クラスターは、
日本有数の繊維産地・北陸を中心に企業や職人が集い、
質感のある伝統技術と最先端技術をつなげていく。
クリエイティブで革新的な日本のテキスタイルで、
世界を、人々の生活を、もっと面白くする。
変わらない伝統を大事に。けど、変化も進化も恐れない。
繊維産業の未来も、明るくするために。